

朽木住民福祉活動計画(第4次)

あいの郷プラン

あんしんして いつまでも のんびりと
さ と
朽木でくらするように…



令和7年(2025年)4月

朽木住民福祉協議会

社会福祉法人 高島市社会福祉協議会

住民福祉活動計画は、身近な地域の福祉について共に考え、できることから取り組んでいくための住民主体の活動計画です。

住民福祉活動計画って？

だれのための何の計画？

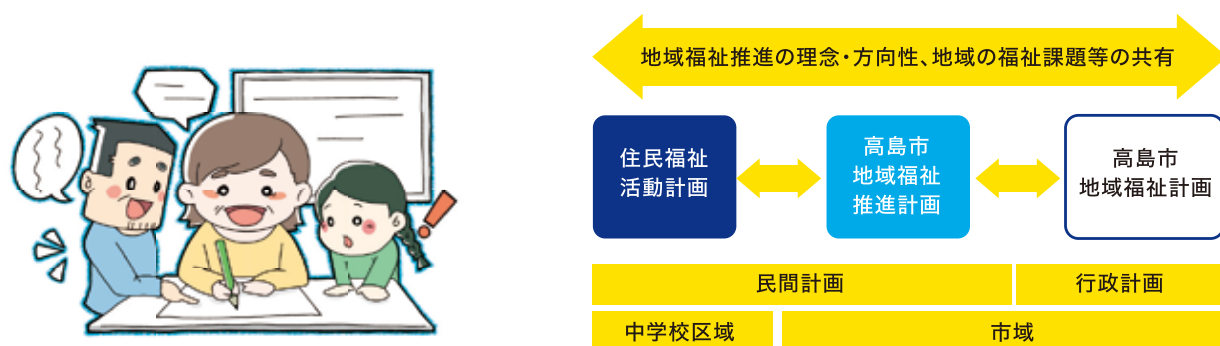
朽木地域の住民の皆さんが、「ふだんのくらしのしあわせ」のために、身近な生活・福祉課題について話し合い、できることから取り組んでいくことをまとめた、誰もが参加できる福祉活動の計画です。

だれが取り組んでいくの？

個人が取り組む活動から、組織・団体が協働して取り組む様々な活動があります。

行政や他の計画との関係

市内の6地域ごとに策定される「住民福祉活動計画」と、社会福祉協議会が呼びかけて市域全体として策定される「地域福祉推進計画」は、民間の計画として相互の取り組みの連携が図られています。市行政が策定する「地域福祉計画」は、高島市総合計画を受けて、行政の立場から地域福祉を推進する計画ですが、これら3つの計画は理念・方向性を共有しています。



住民福祉協議会って？

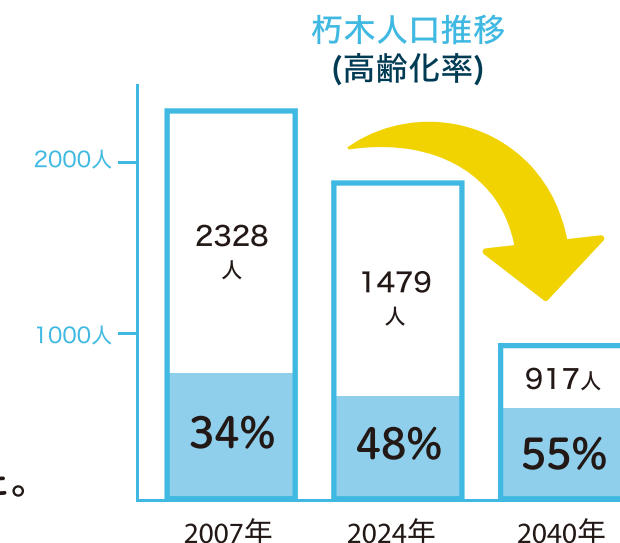
オープンで出入り自由な住民組織です！

住民福祉協議会は、個人、団体にかかわらず「自分のまちを、誰もが住みやすいまちにしていこう」という志のもと、多様な分野、立場で活動する人たちが集まるネットワーク型の組織です。住民福祉活動計画に基づいた様々な取り組みを行っています。

数字で見る朽木地域の「いま」

人口減少、 少子高齢化が 急速に進んでいます

2020年から2024年現在まで
人口は約**180人**減少し、
高齢化率は**48%**まで上昇しました。



今後の 予想

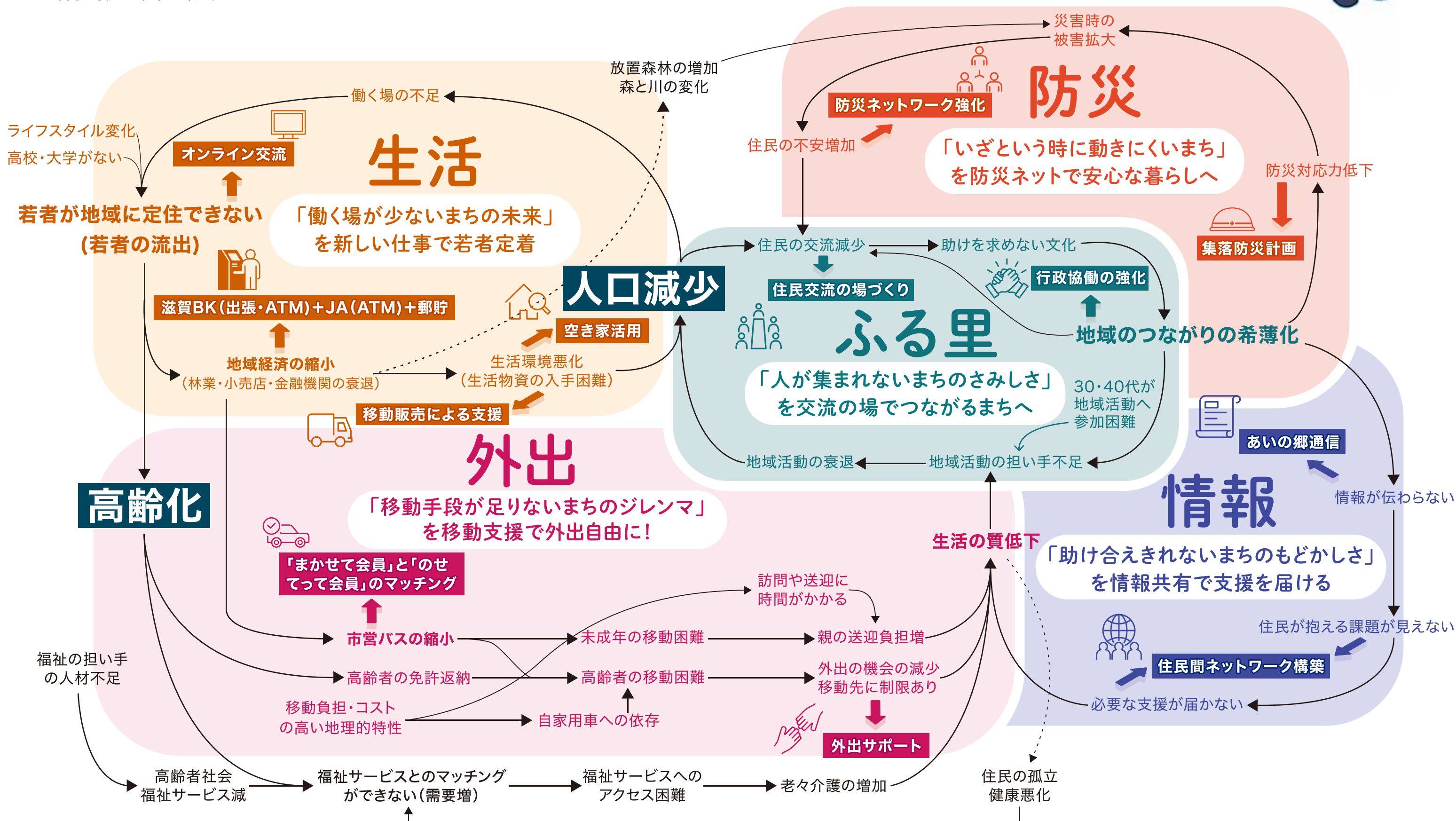
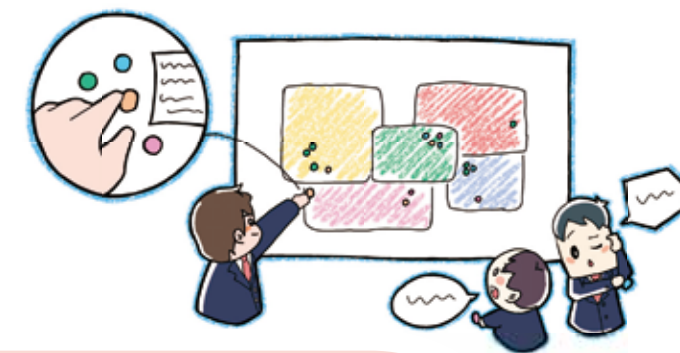
- ✓ 人口減少の結果として、金融機関の窓口利用が不便になり、**民間公共交通のバス路線が減少**しています。
- ✓ 2040年までの人口予測をみると、**64歳までの人口**と**65歳以上の人口**がほぼ同じになります。
- ✓ 将来は今以上の**少子高齢化社会**になっていると思われます。
- ✓ 20年後の朽木の人口は約**900人**になると予測されています。
- ✓ 人口分布の予測を見ると**市場周辺に人口が集中**し、他の地域の人口は非常に減少していると考えられます。
- ✓ **医療と福祉の連携**や**交通・移動**の問題について、深刻度が増していくと推測されます。

見守りネットワークから日常の見守りへ

2020年の朽木地域での見守り活動実施地区は22地区中10地区です。見守りネットワーク活動に限らず、地域の結びつきの強さを活かした、日常的な見守りが行われています。

〔 朽木のつながりで未来をつくる地域の 再生図 〕

人口減少や移動困難、産業衰退などの課題を、地域のつながり・支え合い・情報共有によって解決し、持続可能な未来を築く。





具体的な取り組み

01 外出

移動支援で外出自由に！
希望を叶えるために



- 外出サポート隊の「まかせて会員」と「のせてって会員」をつなげます。
- 現在のバス公共交通を、日常生活での移動手段として、できるだけ続けられるように働きかけます。
- 自家用車やバスだけでは賄えない移動、通院や買い物、子どもたちの習い事など、外出全般をサポートするための仕組みを考えます。

02 情報

必要な人に
必要なことを届けよう



- 必要な人が必要な支援につながれるための、わかりやすいデザインで情報発信します。
- あいの郷通信で、朽木の現状や住民福祉協議会で検討した結果について定期的に発信します。
- いろいろな情報メディアを通じて、各世代に届く情報発信を行います。

5年(第3次)の取り組み

朽木なんでも相談会 2020年～現在



市役所や特別養護老人ホーム、駐在所、社協などの専門職が地域へ出向き、暮らしの中の身近な相談を受けます。その場で話せなくても、顔や連絡先がわかることで、少しでも安心につながることを期待しています。

防災講座 2023年～現在



各地区に向けた防災講座を開催。ハザードマップや、能登半島地震の防災など、テーマ地域の皆さんと「防災」について考えています。

03 生活

くらしの困りごとを
ちいさな支え合いの
つながりで安心



- 集落ごとに住民が気楽に集える企画を作り、情報収集の機会を増やします。
- 様々な専門性を持っている人を核としたネットワークを作り、情報を密に共有するための機会を作ります。
- あらゆる場面で住民のつながりを増やし、いろいろなコミュニティを形成しよう。
- 過疎地域の持続的な発展のための目標を、行政と一緒に考えるための場をつくります。

朽木のこれからを考え
つながるまちへ

04 ふる里



05 防災

いざという時のための
日頃のつながり作り



- 集落で災害対応ができるのか確認しよう。
- これまでの研修会や調査、検討の結果をまとめて情報発信します。
- 災害対応のためのつながりを作ろう。

むらの保健室 2023年～現在



診療所、保健師、社協などの専門職と一緒に親子の居場所として立ち上がりました。専門職からのお話を聞いたり、気になることを相談しあったり、一緒に何かを作ったり、楽しい時間を過ごしています。

みんなの食堂 2023年～現在



「みんなで食べるとおいしいね」を合言葉に、カレーや牛丼、炊き込みご飯などをみんなで食べました。

2025 2027 2029

計画の期間

この計画の期間は、令和7年(2025年)度から令和11年(2029年)度の5年間です。
また、必要に応じて3年目に見直しを行う予定です。

朽木地域のみなさまへ

この計画を通して、地域のみなさまが身近にある生活・福祉課題に気づかれ、それを解決
していく取り組みに参加していただける第一歩となることを願っています。

朽木住民福祉活動計画(第4次)策定メンバー

海老澤 文代	小坂 一郎	駒井 芳彦	森本 美幸
嶋崎 ひな子	長谷川 紀子	藤澤 悟	清水 勉
松村 良雄	若林 美幸	澤田 弘子	森本 正則
上原 絵里奈	車屋 由子	山本 将弘	木村 道徳
松本 道也	早川 百合子	宮田 早苗	

朽木で活動する主な団体

朽木赤十字奉仕団	赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しているボランティア組織です。
朽木更生保護女性会	立ち直りの支援と共に、青少年の非行防止・健全育成並びに地域の子育て支援を行っています。
高島市老人クラブ連合会 朽木支部	「のばそう!健康寿命、担おう!地域づくり」をテーマに「健康」「友愛」「奉仕」の活動に取り組んでいます。
朽木民生委員児童委員協議会	住民個々の相談に応じ、生活課題の解決にあたると共に、地域全体の福祉増進のための活動にも取り組んでいます。
朽木防災ボランティア隊	地域の防災力を補い、高めるために消防職員OB・消防団OBで、行政及び朽木消防分団からの要請により支援する活動。
シルバー人材センター朽木支部	高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する組織です。
高島市健康推進員協議会 朽木支部	健康づくりの5本柱「栄養・運動・健診・休養・生きがい」を基に、地域への普及啓発をおこなっています。
生活支援ボランティアでんでん虫	思いを持った個人が集まり、ボランティアで生活支援を行っています。
くつき外出サポート隊	会員制でボランティアによる朽木診療所までの送迎と帰宅途中での買い物や金融機関までの付き添いを有償で行っています。
朽木地域住みよいまちづくり 推進協議会	「みんなが安心して笑顔で暮らせる朽木」を基本理念に掲げ、人や物の動き(活動・生産)や流れ(交流・物流)が生み続けられる地域づくりを進めていきます。

朽木住民福祉活動計画(第4次)～あいの郷プラン～

朽木住民福祉活動計画(第4次)の一部は、JSPS科研費21K12376「多主体による気候変動対策政策体系のグラフデータベースの構築と地域特性影響の評価(研究代表者:滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 専門研究員 木村道徳)」の助成を受けて作成しました。

制作:成安造形大学 柴崎寛子、田口真太郎、宮崎瑛圭 イラスト:清永風海 デザイン:N.Design 西田巧

発行日:令和7年(2025年)4月1日 策定:朽木住民福祉協議会

編集 発行:社会福祉法人 高島市社会福祉協議会(☎0740-25-5730 FAX 0740-28-7199)

この冊子は、赤い羽根共同募金の助成を受けて作成しています。

高島市社協 Web サイトはこちら

